

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 22-077	
研究課題名	特定大規模施設における門脈血行異常症の記述疫学に関する研究 (定点モニタリングシステム)
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	稀少疾患である門脈血行異常症と診断された症例の所見を全国的に集積し、疾患疫学的特徴をまとめる目的の研究です。使用するデータは完全匿名化を行い、日本門脈圧亢進症学会から委託された Viedoc システムを使用して入力(データ登録)します。研究成果は学会や学術専門誌へ発表されることがありますが、患者さんの個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
利用または提供する情報の項目	診療録内の病歴、臨床検査値、画像所見などを利用します。
対象者及び対象期間	2016 年以降に当科で門脈血行異常症(バッド・キアリ症候群、特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症)と診断された患者さん
利用の範囲	日本門脈圧亢進症学会
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器内科部長 和栗 暢生
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器内科部長 和栗 暢生
共同臨床研究機関	日本門脈圧亢進症学会所属の 25 施設 (代表施設:大阪公立大学)
備考	